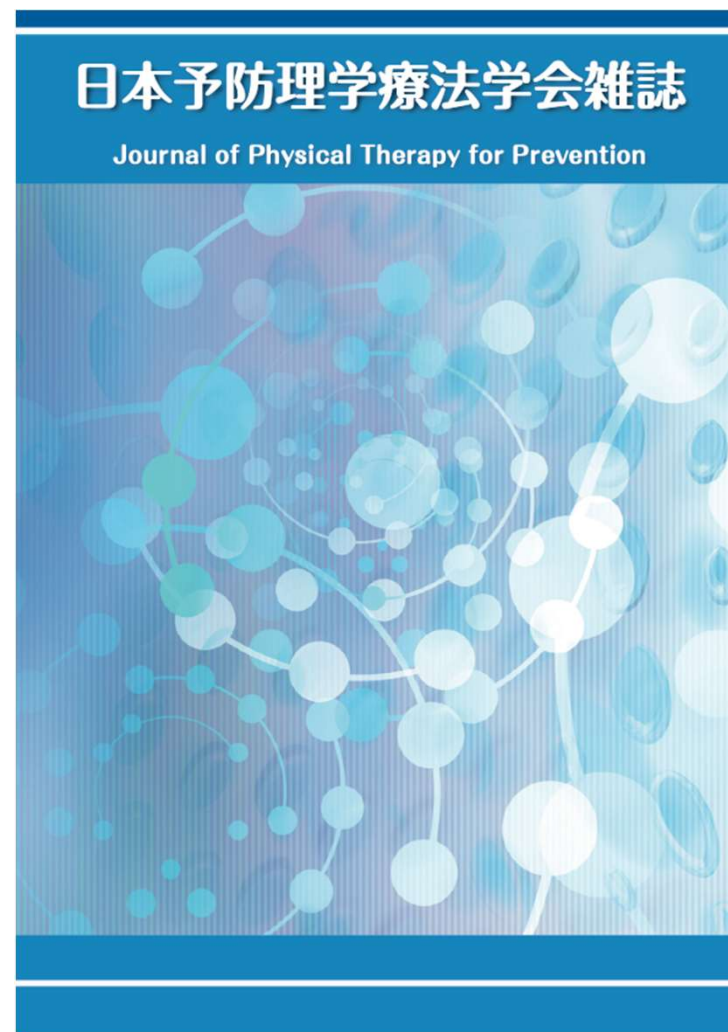
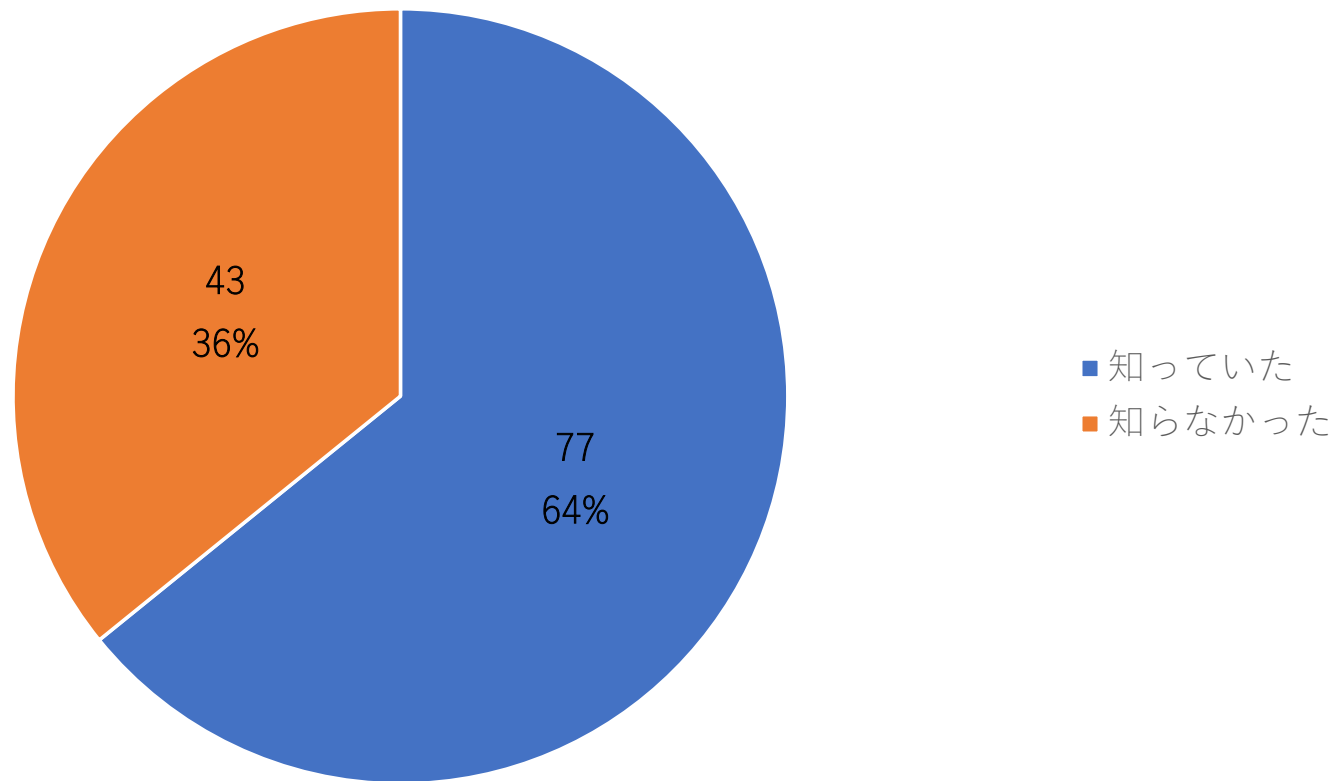


日本予防理学療法学会雑誌 認知度アンケート の結果

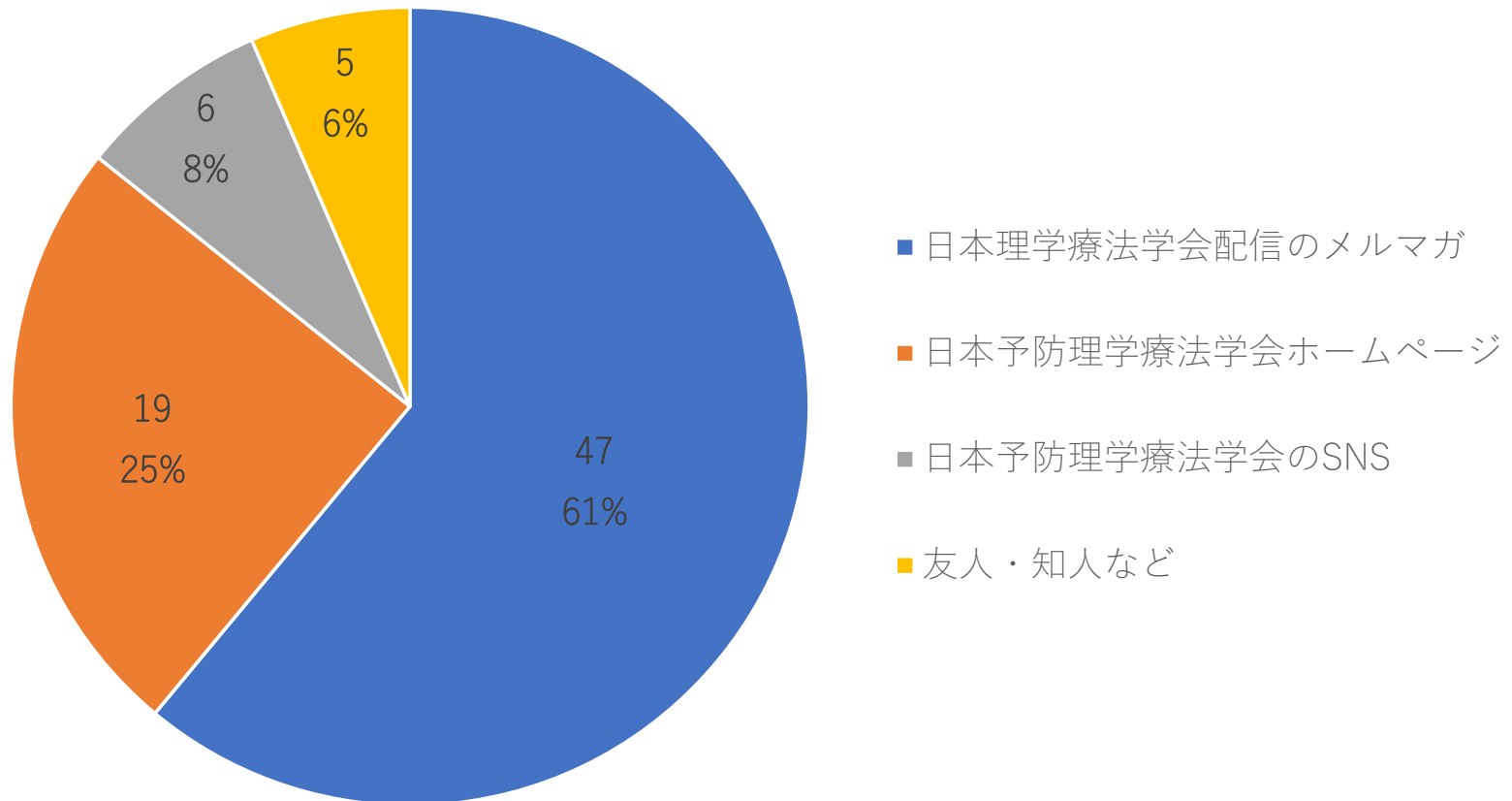
アンケート回答期間：2022年12月～2023年1月
有効回答数：120件



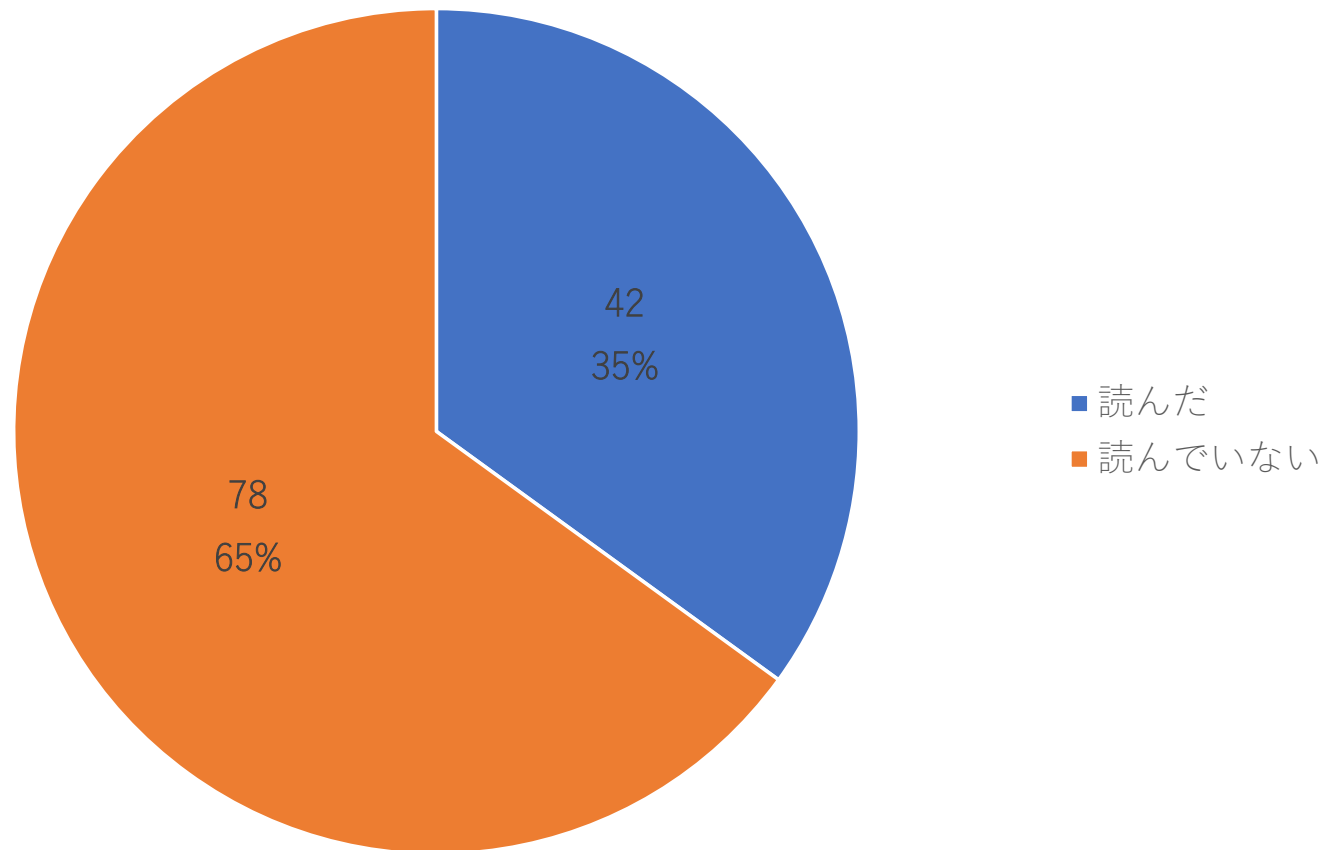
Q1. あなたは、日本予防理学療法学会雑誌が創刊されたことを知っていましたか？



Q2.日本予防理学療法学会雑誌が創刊されたことを何で知りましたか？



Q3.日本予防理学療法学会雑誌に掲載されている論文などの本文を実際に読みましたか？

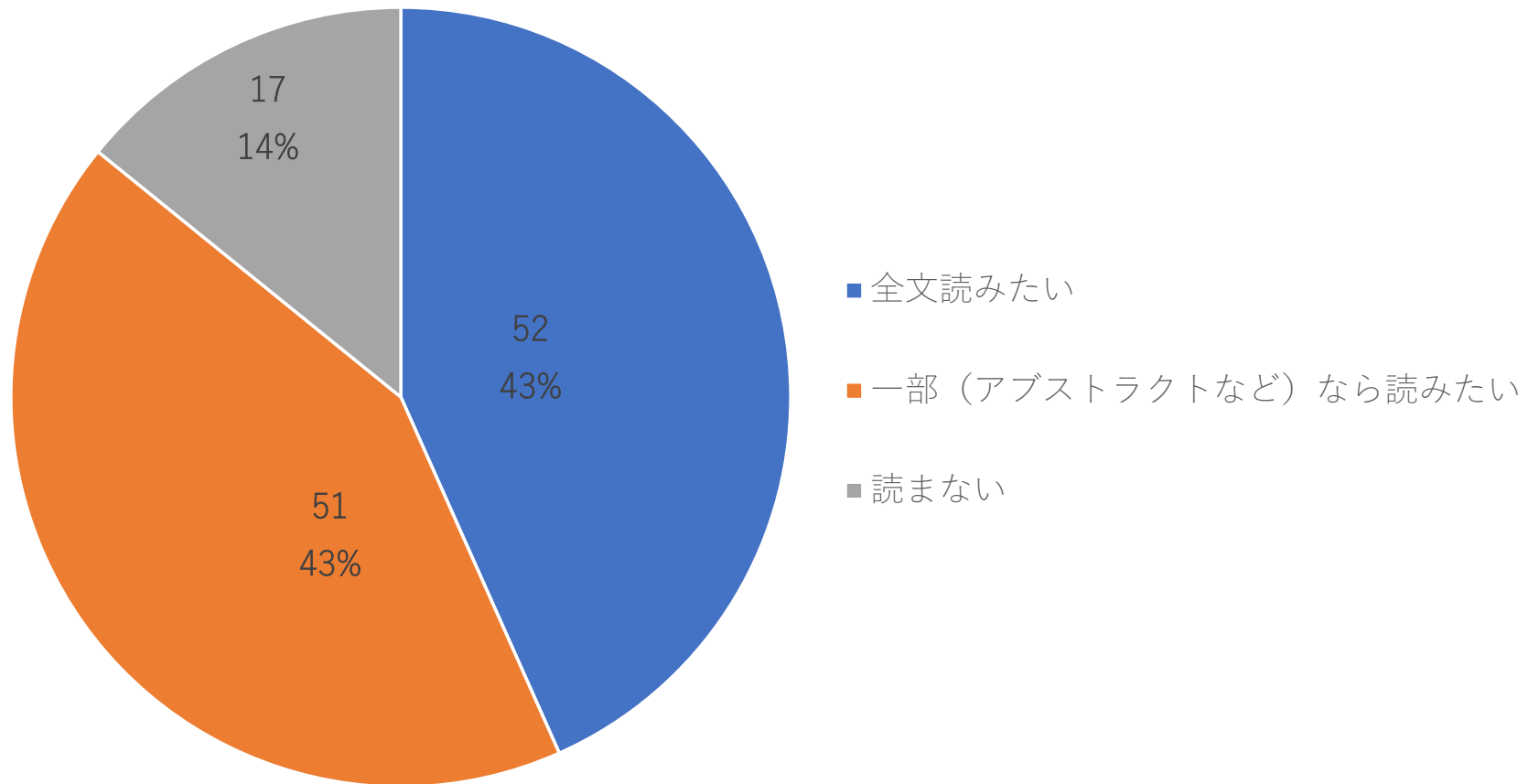


Q4.日本予防理学療法学会雑誌に掲載してほしい内容や企画などありましたら、記載してください

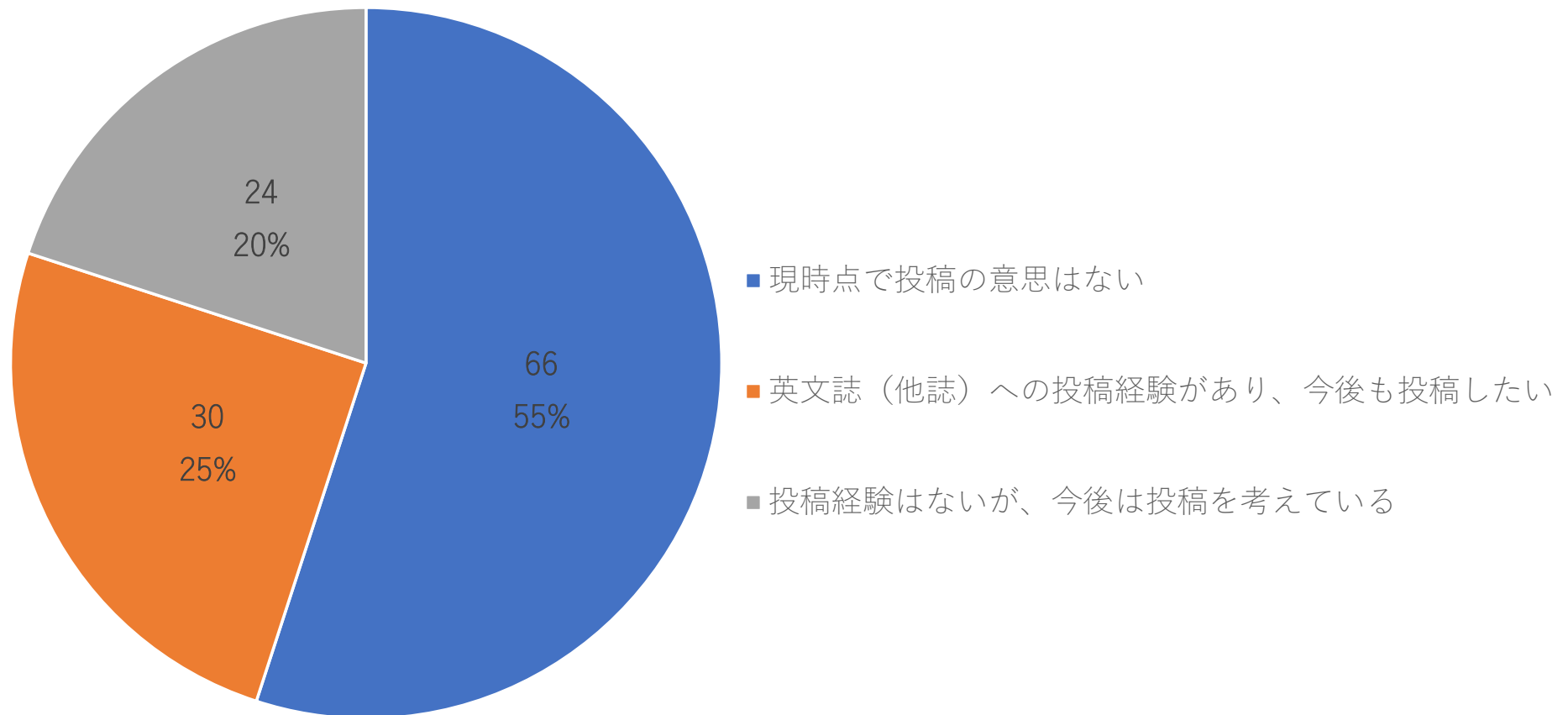
- 学会、論文、採択のためのワンポイントアドバイス
- 予防分野でよく使われる用語の定義などの解説が欲しい
- 各地域での予防理学療法の取り組みとその経緯などを紹介するコーナー
- 研究(統計)方法についての解説
- 最新論文のUP TO DATE

(一部抜粋)

Q5-1. 日本予防理学療法学会で英文雑誌が発刊されれば、読みたいですか？



Q5-2. 英文雑誌が発刊されれば、研究論文などを投稿してみたいですか？



Q6.日本予防理学療法学会雑誌の発刊についてご自由に記載してください。

- より良い雑誌になるように期待しております。
- 英文と日本語も合同でも勉強になります。
- 学会連合自体始まったばかりですし、各学会発行義務のジャーナルは日本語でもあまり知られていない/読まれていない現状ですので、英文発行は時期尚早に感じます。患者さんや対象者さんに還元できてこそその理学療法学ですので、まずは日本語で広く読んでもらえる広報活動が重要だと考えます。
- 今回の雑誌では研究対象が高齢者中心となっているが、予防を考えると、幅広い対象を今後目指して頂ければと思います。
- 私が予防領域の職場ではないので情報収集としての回答です。予防で働くセラピストの方々には英語論文を読んで投稿してほしいです。
- 今後の日本予防理学療法学会雑誌の発展に向け、査読期間が短縮（査読の質向上もですが）されるための取り組みなども行って頂けると幸いです。また、査読者のモチベーション向上のためにも、一部の学会でも行っているように査読者を表彰する制度を求めることも有益ではないかと考えています。
- 投稿時にフォーマットに当てはめるようになっている点が煩雑に感じました。シンプルなフォーマットだとより良いと感じました。
- 特色のある雑誌にしていただけると読みたいなと思うと思います。
- 母国語で学問を語れて仲間同士で議論できる場として、日本予防理学療法学会雑誌をしっかりと読んで、投稿して、予防理学療法学の発展に微力ながら貢献したいと思います。
- 理学療法士にとどまらず、他職種とのコラボ企画や連載があると面白いと思う。
- 理学療法士を対象にしたリハビリ等の情報のみならず、フィットネス分野のパーソナルトレーナー、及び、介護予防分野の介護予防運動指導員などを対象にした内容も盛り込んでほしい。

（一部抜粋）

日本予防理学療法学会雑誌

Journal of Physical Therapy for Prevention

皆様からご提案いただきました内容を今後の雑誌に反映できるよう
編集委員会一同で取り組んでまいります

日本予防理学療法学会雑誌への投稿をお待ちしています